

タケノコのように成長しよう ～さまざまな経験を通し～

5月の大きな学校行事は運動会でした。子どもたちは日頃の体育の学習で学んできたことを生かして、徒競走、団体競技、表現活動に取組み、当日すばらしい演技を披露してくれました。

さて、実業家・タレントして有名な某氏が、「かけ算なんて計算機でできる。このスマホ時代に学校に行くのは時間の無駄。意味がない。」と述べられていました。もちろんその方は社会性の涵養そのものを否定しているのではなく、それについては学校以外でも代替できるのではないかという考えをお持ちであることも付け加えておきます。

果たしてそうでしょうか。子ども一人一人が多様な側面を持っています。運動が得意な子がいれば、逆に苦手な運動会自体待ち望んでいなかった子もいたかも知れません。運動会当日、入賞して喜び、転んで悔しが、あまりよいカードを引くことができずに泣いてしまう子、悲喜こもごもの情景が繰り広げられました。

まさしく「人生山あり谷あり」です。学校という集団生活を通しての様々な成功体験や失敗体験が人を強くしたり高めさせたりする契機になります。教職員は、運動会当日はもちろん、運動会を迎えるまでの過程のなかで、子どもたち一人一人の特性に応じた成長をいかに促そうかということの思い描き、指導・支援を進めてきました。我々の目指す教育が、画一的で結果だけを追い求めるものならば、子どもたちにとって某氏の言うとおりの苦痛な空間（時間）になることでしょう。

スマップ（槇原敬之）の名曲「世界にひとつだけの花」になぞらえ、ひとつひとつの花が、自分の持ち味を見つけ、伸ばし、活躍する、そのような学習環境の構成と教職員による細やかな支援こそ学校教育が果たすべき大きな役割であると考えております。



今年から、全校生・ご家族・卒業生・地域の皆さんと一緒に踊る「相馬盆唄」を運動会の種目に取り入れました。

子どもたちは、地域の皆さんに相馬地方の伝統芸能である盆踊りを教えていただき、上手に踊ることができるようになりました。踊りをご家庭で披露した子どもたちもいたとのこと。

地域の皆さんによる生唄に生演奏、そして学校・家庭・地域が一体となつての盆踊り、子どもたちにとって、とても貴重な経験となりました。ありがとうございました。

6年生大活躍！！ 市陸上競技大会

5月30日(木)素晴らしい青空の下、南相馬市小学校陸上競技大会が雲雀ヶ原陸上競技場で開催され、6年生22名全員、選手として参加しました。

6年生は、5年生の3学期からこの日のため、放課後の時間などを活用して一生懸命練習に励んできました。

80M ハードルに出場した2名の選手が大会新記録で2・3位、100M 走では2位、走り高跳びの2名の選手が2・3位、1000M 走では4位、4×100M リレーでは5位に入賞するなどすばらしい活躍ぶりを見せました。

一人一人が自分の目標に向かって真剣に練習し、競技では、最後まで力を出し切ろうと必死になって取り組んでいる姿に感動を覚えました。6年生全員のこれまでの努力を称賛します。よく頑張りました。



6月の予定

- 6日(木) 耳鼻科検診(1・4年)
- 12日(水) 13日(木) 体力テスト
- 14日(金) 緑化活動
- 18日(火) 心電図検査
- 19日(水) 防犯教室
- 20日(木) プール開き
- 28日(金) 授業参観 PTA教育講演会
学級懇談会
- 29日(土) 区連プレク大会

